

資料2

道徳教育ごよみ

|               |  | 1 学 期                                       |  |  |
|---------------|--|---|--|--|
|               |  | 4 月   | 5 月                                      | 6 月                                      |
| 月の生活目標        |  | 学校生活に規則正しく生活しよう。                            | 規則正しい生活をしよう。                             | 健康で安全な生活をしよう。                            |
| 育てたい内容項目(道徳性) |  | 1 誠実な態度<br>2 礼儀、寛容<br>3 生命の尊厳<br>4 社会的責任    | 1 自由・規律<br>2 礼儀、信頼<br>3 友情、寛容<br>4 公徳心、愛 | 1 自由・規律<br>2 礼儀、信頼<br>3 生命の尊厳<br>4 公徳心、愛 |
| 体験活動          | 学校行事   | 6 始業式入学式<br>15 身体測定<br>28 交通安全教室<br>30 避難訓練 | 14 運動会予行<br>19 運動会<br>27 28 修学旅行         | 22 23 体験学習<br>28 少年劇場<br>29 プール清掃        |
|               | 児童会活動  | 7 地区児童会                                     | 24 新入生歓迎会<br>21 児童会総会<br>12 児童委員会        |  |
|               | 創意   | 28 オリエンテーション                                | 11 榎枝岐音頭                                 | 26 春の内を観<br>○合奏祭の練習                      |
| 年間を通しての実践指導   | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>榎枝岐の自然と伝統を大切にする子のびのび元気に遊ぶ子<br/>笑顔で明るくあいさつする子<br/>まじめに進んで学習する子<br/>たくましく、何事にも負けない粘り強い子のぞみを高くがんばる子<br/>良いこと悪いことが分かる素直な子を命を大切に、友や家族を大切にする子<br/>個性豊かに表現できる子</p> </div> |   |  |  |
| 地域との連携        | PTA総会<br>街頭指導  | 朝日杯スキー<br>家庭訪問<br>小中連絡協議会<br>議会<br>授業参観     | 県総スボー<br>村少ソフト<br>住民運動会                  | 会報発行<br>県総スボー<br>ツ少パレ―                   |
| 地域行事          |  | 愛宕神社祭<br>(奉納歌)                              | 尾瀬山開                                     |  |

分の心の中を真剣に考えましよう。  
● 友達の話は、どんなことかと考えながら、しつかり聞くようにしましよう。  
● 人間のよさや、自分のよいところ、友達の良いところを一生懸命に見つけるようにしましよう。  
(◇道徳シートにより、授業後このような点について自己評価を行ってきた。)  
※これらの他に、学級や学年の実態に応じた内容をその都度付け加え掲示活用を図った。

(4) 自分を見つめる場の明確化  
①指導の実際  
○〈実践例・3〉―第2・3学年  
○主題名「わたしたちの村」  
○資料名(祭りだいこ)(改作)  
ア「自分を見つめる・1、2、3」のとらえ方  
道徳の時間を中心とした道徳学習において、「自分を見つめる・1、2、3」として次のような場に位置付けて指導を行ってきた。  
● 「自分を見つめる・1」↓事前指導や導入の段階(自分や資料の価値への意識化・課題の意識化及び明確化

● 「自分を見つめる・2」↓展開の前段(資料をもとにした話し合いなどを通して多様な価値との出会いや比較により自分を見つめる、類型化)  
● 「自分を見つめる・3」↓展開の後段(より高い多様な価値に照らし今までの自分を主体的に内省・新しい課題の発見)  
イ「道徳の時間と他の教育活動との関連で自分を見つめるさせるための手だて」  
豊かな体験的活動の中で使用した「がんばりカード」などを、事前や導入における「自分を見つめる・1」の段階で活用し、自分を見つめさせ

てきた。(資料3)



ウ「自分を見つめる」場を設定した指導過程(教育福島4・5月号参照)

②考察

道徳の時間を中心に「自分を見つめる・1、2、3」をそれぞれの場で意図的に設定してきたことで、児童はいろいろな道徳的価値に主体的に触れることができ、資料や友達によさなどの心豊かな心との交流を通して自分のよさの発見や価値観の広がりが見られ、道徳的価値の自覚を深めることができた。今後、更に児童が総合道徳学習の中で主体的に「自分を見つめる」場が見つけれられるような支援の方法を工夫していくことが大切である。